

### 第5回 地域なんでも労働相談会

「労働組合をつかって労働条件を改善したい」など38件の相談

連合群馬では7月9日(土)～11日(月)の3日間、労働組合のない職場で働く仲間や派遣・パート労働者を支援するため県下12地域協議会で労働相談会を開催し、3日間で面談35件と電話3件を受け付けました。



初めての平日夜間相談には、仕事帰りに仲間と数名で訪れるなど3日間で48名が相談に訪れました。中には「社長が変わると労働条件が一方的に変わる。労働組合を作って改善したい。」など組合作りの相談や、残業代がもらえない...と明らかに労働基準法違反のケースもあり、関係機関と連携し問題解決に取り組んでいきます。

連合群馬ホームページ 地協の活動が見られます。  
地協「HOT PHOTO ALBUM」オープン!!  
<http://www.rengo-gunma.gr.jp/> アクセスしてね。

### 新しい 組織拡大アドバイザー紹介

組織率が低下している中で、組織拡大は大変重要な活動となっています。これまで組織拡大アドバイザーは、組織化(組合結成)に向けて未組織企業の訪問や、組織化により連合群馬ユニオンに加盟した組合の支援をしてきましたが、今後さらに活動強化が必要になっています。

高橋正好アドバイザー

このような中で7月1日から運輸労連出身の高橋正好さんが組織拡大アドバイザーとして就任しました!

今後、杉戸・前原・今井アドバイザー共々、4人体制で活動しますのでよろしくお願いいたします。



### お知らせ 「夏の思い出」音楽祭

来る8月18日(木)尾瀬戸倉スキー場で、音楽祭が開催されます。自然保護活動発祥の地で環境保全の大切さを全国に向けて発信するイベントです。

以下のHPをご覧ください。

片品村HP <http://www.villkatashinagunma.jp/>  
尾瀬保護財団HP <http://www.oze-fnd.or.jp/>

## とっておきの 散歩道

No.12

梅雨の季節に栄えるアジサイ寺。紫陽花に見とれて、いつになってもドジは変わらず.....

### ～さて今回は、鎌倉ぶち旅行のお話～

学生時代の友人が結婚することになり、先日、仲間とお祝いを兼ねた1泊のぶち旅行へ行ってきました。行き先は鎌倉。久々に江ノ電に乗って寺院をめぐり、アジサイを見てきました。

中でも長谷寺は、「アジサイ寺」としても名が知られていますが(ご存じの方も多いと思います)が、ここだけで20種以上、2300株。私が行ったときは満開にはあと少しといった時期でしたが、それでも圧倒される勢いで咲いていました。色合いもやさしいものから鮮やかなもの。咲き方にいたってもかわいらしいものから凛としたものまで実に様々。日常よく見かけるアジサイを、これほどまでよく見たことはありませんでした。品種も多く実に奥深い花だったんですね。

夜はお酒も少しだけ手伝って、それぞれの近況報告や思い出話、そして各々の大ボケぶりが加わり、たいへん盛り上がりました。楽しさをお伝えしたいのは山々ですが、控えたほうがいいようです。ん～、残念。

今回の旅行の主賓である友だちは、私の大親友です。その彼女の結婚式も、つい先日天候にも恵まれ和やかな雰囲気の中、盛大に無事終了しました。私のスピーチも何とか無事(?)終了。旅行の写真もしっかり渡しました。

でも何か足りないかも...? あ! みんなで撮った写真がない! こんなに撮ったのに...。っていうか、撮ってるときに誰か気付け! いずれにしても、またドジを繰り返してしまいました。

あ～(。 ;)(萌)



花びらがかわいらしいアジサイ



名前のとおり色鮮やかなブルースカイ

ブルースカイ

(写真:長谷寺パンフレットより)

### 編集後記

平和行動で長崎集会(8月7日～9日)に参加します。20年前に観光で訪れましたが、戦争はどこか遠い国の出来事にしか感じられませんでした。戦後60年の節目に再び被爆地を訪れる機会を得ました。歴史を風化させないためにも、戦争の悲惨さをしっかり学べます。(お)

今回の取り組みの中で連合群馬の署名目標をクリアするためには、何と言っても組合員・家族を中心とした産別の署名活動の結果がその鍵を握ることになります。地協での世論形成の取り組みと合わせ、連合群馬が提唱した県民課題が解決出来れば、昨年夏の参議院選挙同様に県内地方政治の流れを大きく変えることが出来ます。署名活動とは言っても、その結果は連合群馬と構成組織の組織力を示すものであり、クリアしなければならぬ目標となります。連合と構成組織の県の軽重が問われる活動として、その成功を期したい。

... 県の軽重が問われている ...

明後年春の県議選は「市町村合併後の区割り選挙を行うべき」と、「県議選のあり方を考える会」の署名活動がスタートした。

考える会の活動は個人の参加も含めた県民運動として展開しますが、その署名活動を中心的に担うのは連合群馬の役割となっています。

今回の取り組みの中で連合群馬の署名目標をクリアするためには、何と言っても組合員・家族を中心とした産別の署名活動の結果がその鍵を握ることになります。

地協での世論形成の取り組みと合わせ、連合群馬が提唱した県民課題が解決出来れば、昨年夏の参議院選挙同様に県内地方政治の流れを大きく変えることが出来ます。

署名活動とは言っても、その結果は連合群馬と構成組織の組織力を示すものであり、クリアしなければならぬ目標となります。連合と構成組織の県の軽重が問われる活動として、その成功を期したい。